

令和元年度（平成30年度活動分）

教育委員会の点検・評価報告書

川内村教育委員会

令和元年8月

1、教育委員会の点検・評価について

(1) 制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任の果たすため、同法第26条によって、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、点検・評価を行うこととし、その結果について報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならない。

(2) 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有するものの知見の活用について、点検・評価の客観性を確保するもので、活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関して学識経験を有する者の意見を徴する機会を設けること等が必要です。

尚、教育に関し学識経験を有する者については、必ずしも専門家というものではなく、客観的な評価としての教育に関し公平な意見を述べることができるものであることが必要とされます。

2. 点検評価の実施方法

川内村教育委員会点検・評価委員会設置要綱に基づき以下の通り実施しました。

(1) 目的

効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進することを目的とする。

(2) 実施方法

ア. 点検・評価の対象は、毎年度策定する「重点施策」とする。

重点施策に関する事務事業について、点検評価シートを作成します。

点検評価は当該年度の施策・事業を検証し、課題や今後の方向性等を表します。

イ. 点検評価委員に重点事業の評価内容を担当者から説明します。委員より意見を求めます。

ウ. 評価委員からの意見に基づき点検・評価報告書をまとめ、教育委員会へ審議事項として提出します

点検・評価委員

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	谷 信 孝	うつくしまふくしま未来支援センター
委員長職務代理	西山かね子	川内村社会教育委員
委 員	志賀 志津	前川内村教育委員

点検評価の経緯

年 月	会 議 等	内 容
令和元年7月	事務事業評価	評価シートを作成し各係において事務事業評価を行う
令和元年8月7日	第1回評価委員会	各事務事業の説明 委員より質問・意見
令和元年8月8日～19日	稟議	委員より質問・意見 とりまとめ
令和元年8月26日	教育委員会定例会	点検評価書の取りまとめ
令和元年8月	議 会	点検評価書類を議会提出
令和元年9月	ホームページ公開	点検評価書類

報告事項について

1. 教育委員会の活動状況

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

- (1) 教育委員会の定数
- (2) 教育委員の研修会参加状況
- (3) 教育委員会の会議の開催状況
- (4) 教育委員会の会議の公開状況
- (5) 議案の審議状況
- (6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況
- (7) 情報の提供状況
- (8) 教育委員会事務局等の体制
- (9) 生涯学習講座実績

2. 点検・評価の結果

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

川内村教育委員会重点施策

1. 教育行政の推進
2. 就学前保育・教育の充実
3. 教育活動の充実
4. 生涯学習の推進
5. 社会教育の推進・健全な青少年の育成
6. 芸術文化活動の推進
7. 地域・家庭等連携
8. 生涯スポーツの推進

教育委員会の活動状況

1) 教育委員会の定数

単位：人

人数	性別		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女
5 (1)	3 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)

※ () は内数で、保護者である委員

2) 教育委員の研修参加状況

主催別	全国	東北六県	県	浜通り
教育委員	0	3	5	2
教育長	3	1	1	2

3) 教育委員会の会議の開催状況

	定例会	臨時会
開催回数	12回	1回

4) 教育委員会の会議の公開状況

傍聴者数	0 人
傍聴者が1人以上の会議の回数	0 回

5) 議案の審議状況

開催月	開催形式	議案等番号	件名
4月	定例会	議案第8号	平成30年度川内村奨学資金の奨学生決定に係る承認について
		議案第9号	川内村教職員の多忙化解消プラン策定について
5月	定例会		案件なし
6月	定例会	議案第10号	専決処分の承認を求めることについて(予算補正)
		議案第11号	専決処分の承認を求めることについて(予算補正)
		議案第12号	就学援助費の支給児童生徒の承認について
		議案第13号	川内村教員委員会点検評価委員会委員の委嘱について
7月	定例会	議案第14号	平成31年度使用小学校教科用図書の採択について
		議案第15号	平成31年度使用中学校教科用図書の採択について
		議案第16号	就学援助費の支給児童生徒の承認について

開催月	開催形式	議案等番号	件名
8月	定例会	議案第17号	平成29年度川内村教育委員会自己点検評価について
9月	定例会	議案第18号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第19号	川内村義務教育学校校名選定委員会設置要綱の制定について
10月	定例会	議案第20号	川内村義務教育学校設置条例の制定について
11月	定例会	議案第21号	川内村室内型村民プール指定管理者の指定について
12月	定例会	議案第22号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第23号	就学援助費支給要綱の全部改正について
1月	定例会	議案第1号	平成31年度 川内小・中学校新入学児童生徒への通知について
		議案第2号	川内村就学援助費支給要綱の一部改正について
2月	定例会	議案第3号	専決処分の承認を求めることについて
		議案第4号	認定こども園設置条例の一部を改正する条例について
		議案第5号	川内村室内型村民プール設置条例の一部を改正する条例について
		議案第6号	川内村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
		議案第7号	川内村学校運営協議会規則の制定について
		議案第8号	川内村地域学校協働本部設置要綱の制定について
		議案第9号	川内村地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について
		議案第10号	川内村教育環境整備推進委員会設置要綱の一部改正について
		議案第11号	平成31年度川内村教育基本方針について
		議案第12号	平成31年度川内村教育重点施策について
議案第13号	川内村立川内小中学園教育基本計画の策定について		
3月	臨時会	議案第14号	教職員異動に伴う内申について
3月	定例会	議案第15号	専決事項の承認について（平成30年度一般会計補正予算）
		議案第16号	専決事項の承認について（平成31年度一般会計予算）
		議案第17号	不登校児童生徒等の指導要録上の出欠の取扱いに関する規程の制定について
		議案第18号	平成31年教職員人事異動に伴う承認について
		議案第19号	平成31年教育委員会職員人事異動に伴う承認について

6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	かわうち保育園	川内小学校	川内中学校	阿武隈民芸館
実施日	保育参観 11月	授業参観 11月 学習発表会 10月	授業参観 11月 清流際 11月	実施なし

※定例会開催日に合わせて訪問を実施

※訪問内容

- (1) 教育長による教職員への訓示 (2) 保育参観、授業参観 (3) 施設の管理状況視察
(4) 所属長との懇談

7) 情報提供の状況

月	提供媒体
5月1日発行	川内野球スポーツ少年団再開 西山獅子20年ふりの立替 3月23日川内小学校卒業式(10名の卒業者) 3月24日川内保育園卒園式(3名の卒園児) 3月18日ピアノ教室発表会 4月6日、川内小学校(3名入学)・川内中学校入学式(10名入学) 保育士、小学校、中学校人事異動による職員紹介 5月19日小学校・保育園合同大運動会開催のお知らせ 5月24日中央学級開催、教養講座「歌って学ぶ歌謡曲演奏」
6月1日発行	4月5日、かわうち保育園入園式(総数35名の入園) 4月28日、第3回川内の郷かえるマラソン大会(1,800名参加、関係者含め3,000人で村内賑わう) 7月6日、移動図書館「あずま号」巡回 7月14日、第53回天山祭り開催 川内村小中一貫教育・学校施設複合化施設整備基本構想・基本計画報告書策定
7月1日発行	5月14日、第1回教育環境整備推進委員会 5月19日、川内小学校・かわうち保育園合同運動会 5月24日、第1回中央学級(歌って学ぶ歌謡曲演奏会鑑賞) 5月26日、第10回川内村村民ゴルフ大会(59名参加) 7月14日、第53回天山祭り開催の案内 7月27日、第2回開催、楽しく健康保持と世代間交流カーリンコン大会 もりたろうプール教室の案内 川内村義務教育学校「校名」を募集 ふくしま駅伝競争大会選手募集 第71回夏季野球大会参加チーム募集

8月1日発行	<p>6月19日、第2回教育環境整備推進委員会視察研修（飯館村学校施設）</p> <p>7月14日、第53回天山祭り</p> <p>7月1日、双葉郡スポーツ交流大会</p> <p>9月5日、第3回中央学級「口腔ケア」教室</p> <p>義務教育学校開校に向けて（義務教育学校の仕組み）</p> <p>もりたろうプール教室の案内</p>
9月1日発行	<p>7月18日、川内中学校食育・テーブルマナー（村内・県内産品）</p> <p>7月27日、第2回中央学級（カーリンコン大会 105名参加）</p> <p>8月3日、かわうち保育園夏まつり</p> <p>8月5日、県民スポーツ相双地区大会（ソフトボール3位、壮年ソフトボール3位）</p> <p>8月10日から19日間、天山文庫光のフォレストナイト開催</p> <p>8月13日・14日、第71回夏季野球大会（11チーム参加、四区優勝）</p> <p>8月15日、川内村成人式（17名出席）</p> <p>第12回市町村対抗福島県軟式野球大会出場</p> <p>天山文庫だより 「甲子園で見つけた草野心平の足跡」</p> <p>義務教育学校開校に向けて（コミュニティスクール）</p>
10月1日発行	<p>8月16日～19日、復興子ども教室【長崎研修：小学校6年生】</p> <p>9月5日、第3回中央学級（口腔ケア）健康講座の報告</p> <p>10月25日、第4回中央学級（落語）教養講座のお知らせ</p> <p>復興大臣感謝状 「川内の郷かえるマラソン大会」</p> <p>天山文庫だより 「宮沢賢治と草野心平」</p> <p>もりたろうプール トレーニングジムオープン</p> <p>義務教育学校開校に向けて（コミュニティスクール）</p>
11月1日発行	<p>9月18日～25日、海外教育交流派遣事業：川内中学校生徒シアトルへ</p> <p>9月24日～27日、北の大地で交流学校、川内小学校児童北海道士別市へ</p> <p>10月2日 教育環境整備推進委員会研修会（校名選考について）</p> <p>11月20日、移動図書館の案内</p> <p>12月6日、中央学級「健康講座」の開催</p> <p>第12回市町村対抗福島県軟式野球大会の結果</p> <p>天山文庫だより「富士の詩人」</p> <p>もりたろうプール冬季使用券についてのお知らせ</p> <p>義務教育学校開校に向けて（認定こども園とは）</p> <p>平成31年度 認定こども園かわうち保育園児童募集</p> <p>第30回ふくしま駅伝出場選手紹介（5名の選手）</p>
12月1日発行	<p>10月13日、第5回市町村対抗福島県ソフトボール大会</p> <p>10月20日、川内小学校・保育園学習発表会</p> <p>10月27日、川内中学校清流祭</p> <p>10月25日、中央学級「笑って健康：健康講座」</p> <p>11月7日、保育園ミニ発表会</p>

	<p>公民館事業意向調査、各種講座等の要望・意見について 天山文庫だより「心平先生の詩の紹介：秋の夜の会話」 もりたろうプール年末年始の営業のお知らせ 川内村保・小・中一貫教育に向けて</p>
1月1日発行	<p>11月18日、第30回ふくしま駅伝大会 希望ふくしまチーム 結果 2月16日、川内っ子 スキー・スノーボード教室 参加者募集 2月24日、健康づくりソフトバレーボール大会参加チーム募集 もりたろうプール教室利用のお知らせ 天山文庫だより「心平先生の詩の紹介：紅梅」 義務教育学校開校に向けて（校名決定：川内村立川内小中学園） 第4回川内の郷かえるマラソン大会エントリー開始</p>
2月1日発行	<p>1月10日、川内保育園団子さし 天山文庫だより「心平先生の詩の紹介：某日某日」 もりたろうプール記録会のお知らせ 川内村奨学資金貸与制度のお知らせ 川内村の保・小・中一貫教育、9年間の学びと育ちをつなぐ 川内の郷かえるマラソン大会民泊募集、ボランティア・スタッフ募集</p>
3月1日発行	<p>1月27日、文化財防火デー防火訓練：長福寺 3月8日、中央学級「教養講座」の開催 4月20日、第11回川内村村民ゴルフ大会参加者募集 マラソン事務局から民泊提供者募集のお知らせ 天山文庫だより「心平先生の詩の紹介：春のうた」 もりたろうプール、ウォーターボール体験イベント 川内村の保・小・中一貫教育に向けて</p>
4月1日発行	<p>2月24日、第15回健康づくりソフトバレーボール大会（10チーム） 3月1日、かわうち保育園ひなまつり 2021年4月開校・開園目指して施設整備が始まります。 川内小学校レポート紹介「未来につなぐ」 天山文庫だより「心平先生の詩の紹介：火の車」 もりたろうプール3周年記念イベントのお知らせ 教職員人事異動のお知らせ 川内の郷かえるマラソン大会4月30日開催</p>

8) 教育委員会事務局等の体制

職 員 数	常 勤	臨 時	
		嘱 託	通 年
教 育 課	11	4	1
内 訳	教育総務係	3	
	生涯学習係	3	2
	かわうち保育園	5	0
	川内小学校		1
	川内中学校		1

※県費負担教諭等を除く

9) 生涯学習講座実績

中央学級

実 施 日	講座の種類	講 座 内 容	講 師 等
5月24日	開講式・教養講座	歌って学ぶ歌謡演奏会	ワンスモア・旅芸人
7月27日	健康講座	カーリンコンスポーツ交流会	小学生、老人会、婦人会
9月5日	健康講座	口腔ケア	長崎大小山善哉・学生
10月25日	教養講座	落語	山椒家小粒
12月6日	健康講座	いつまでも元気で！～伸ばそう健康寿命～	木村悠子、岡崎可奈子
3月8日	閉校式・教養講座	元宝塚歌劇団の歌と演劇鑑賞	真灯かなた

その他教室及び講座（生涯スポーツ活動含む）

実 施 日	講 座 名	場 所
2月24日	村民交流 ソフトバレーボール大会	体 育 セ ン タ ー

平成 30 年度 川内村教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧

番号	重点施策名	事務事業	評価	評価担当係
1	教育行政の推進	効果的な教育行政の推進	4	教育総務係
		教育予算の確保と執行の適正化	3	教育総務係
		教育施設・設備の整備充実	4	教育総務係
		教育備品の充実	4	教育総務係
2	就学前保育・教育の充実	保育・教育の充実	4	かわうち保育園
3	学校教育の充実	教育内容・方法の充実	4	教育総務係
		変化に対応した教育を充実	4	教育総務係
		児童・生徒指導の充実	3	教育総務係
		教職員の確保と資質の向上	3	教育総務係
		特別支援教育の充実	4	教育総務係
4	生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	1	生涯学習係
		生涯学習の普及啓発	2	生涯学習係
		生涯学習機会の拡充	1	生涯学習係
5	社会教育の推進と健全な青少年の育成	社会教育活動の充実	3	生涯学習係
		社会教育推進体制の充実	3	生涯学習係
		社会教育施設の整備	3	生涯学習係
		家庭教育の充実	3	生涯学習係
6	芸術文化活動の推進	芸術文化活動の促進	2	生涯学習係
		郷土芸能、文化伝承活動の推進	3	生涯学習係
7	地域・家庭等連携	地域コミュニティづくり	2	生涯学習係
8	生涯スポーツの推進	スポーツの振興	3	生涯学習係
		健康づくりの推進	3	生涯学習係
		小中学校特設スポーツクラブの推進	3	生涯学習係
計	総評価		3	

※評価 : 4 十分達成 3 ほぼ達成 2 やや不十分 1 不十分

自己点検・評価シート

【1-(1)】

重点施策名	事務事業	
1 教育行政の推進	(1) 効果的な教育行政の推進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○総合教育会議の運営	☆定例会（年1回） ☆臨時会（随時）	④・3・2・1
○教育委員会会議の運営	☆定例会（月1回） ☆臨時会（随時） ☆村内小中学校訪問 ☆研修視察	④・3・2・1
○教育機関相互の連携・協力	☆教育事務所指導訪問 ☆教育事務所管理訪問 ☆村内校長・教頭会（月1回） ☆村内小中教頭会議（随時） ☆村内小中事務担当者会議（随時）	④・3・2・1
○他町村との協力	☆教育長会議 ☆教育委員会連絡協議会 ☆双葉郡教育復興ビジョン推進協議会	4・③・2・1
○教育特区	☆学校審査会の開催 ☆認可校への指導・助言	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<p>少人数環境での教育の在り方について、教育基本計画の策定や義務教育学校校名について教育総合会議において村長と教育委員会で協議を行った。</p> <p>教育委員会の会議の運営については、月1回の定例会や臨時会議の開催、研修会への参加を実施した。学校訪問については、こども園、小・中学校とも1つであることから、随時校内活動などの確認を行っている。</p> <p>教育機関連携協力として、教育事務所の指導や管理訪問を受けて教育の体制、運営等の改善を行うとともに、定期的な管理職との情報交換を行い、適宜指導助言を行っている。</p> <p>他町村との協力については、教育長会議が随時開催され情報交換を行っている。併せて震災後から双葉郡教育復興ビジョン推進協議会も開催され、学校再開と運営に関して、意見交換などを行っている。</p> <p>教育特区認可校である株式会社立大智学園高校については、学校審議会を開催し、学校の経営について評価しています。文部科学省と内閣府の現地調査による適正な教育活動への是正について指導を行っています。</p>	4

【1-(2)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(2) 教育予算の確保と執行の適正化	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○教育予算の確保		☆教育施設・設備・備品の現状把握に努め、教育予算を確保する	4・③・2・1
総合評価			4・3・2・1
成	<p>これまで、震災から学校再開のためのハード事業と同時に教育体制の見直しや児童生徒のケア等のソフト事業も実施してきた。</p> <p>予算計上に当たっては、学校側と打合せを重ね、現場の要望や実情を把握し学力向上や快適な教育環境で学習ができ、より効果の上がる予算編成を心掛けた。特に限られた時間の中での積算であるため、協議の場を早めに設定している。</p> <p>又、令和3年4月開校のための教育環境の整備に向け、今年度は設計業務を主体とするハード事業の経費のほか環境整備体制での推進体制に要するソフト事業の予算確保に努めた。</p>		3

【1-(3)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(3) 教育施設、設備の整備充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○小中学校教育環境等の整備		☆各種備品購入及び教育環境整備の促進	4・③・2・1
○校舎等の改修整備		☆改修、整備工事の執行	④・3・2・1
○教育施設の保守、管理委託		☆学校、プール等保守、管理等を専門業者への委託	④・3・2・1
○工事に係る事故防止の徹底		☆諸工事に伴う事故防止	④・3・2・1
総合評価			4・3・2・1
成	<p>各種備品は、児童生徒が安心・安全かつ充実した環境で過ごせるように、年度当初に速やかに事務執行を行っている。</p> <p>改修・整備が必要なものについては、学校からの要望を受け次第、迅速な対応に努めてきた。</p> <p>各種施設設備に係る保守管理については、年度当初に委託契約等を締結し管理業務を行ってもらっている。小学校については校舎整備以来15年以上が経過することから設備等の故障・不具合が多くなってきているため、速やかに修繕し維持対応する必要がある。</p> <p>一方中学校については、築30年経過しており、小中の統廃合による跡地利活用検討委員会が設置され具体的な活用の検討に入った。</p>		4

【1-(4)】

重点施策名		事務事業	
1 教育行政の推進		(4) 教育備品の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○教育備品、管理備品の充実		<p>☆備品の管理と予算の確保</p> <p>☆必要教材、学校図書を購入</p>	④・3・2・1

総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<p>教材、備品購入に当たっては、学校と緊密に連絡を取り合いながら予算の確保を図り、購入は教育課程へ支障の出ないよう迅速な事務処理に努めている。</p> <p>学校図書整備としては、毎年定額による整備を進めており、購入年の古書籍や毀損物等図書については、処分している。</p> <p>2年後の統合による学校図書整備上、図書システムでの管理等を検討したが年間のランニングコストに見合った費用対効果を検討した結果、導入は時期尚早と判断。</p>	4

【2-(1)】

重点施策名	事務事業	
2 就学前保育・教育の充実	(2) 保育・教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○保育教育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ☆豊かな感性を育む ☆思いやりの心を育む ☆就学前の基礎学習の指導 	④・3・2・1
○社会性や基本的生活習慣の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ☆友達や仲間を大切にすることを育む ☆基本的生活習慣の指導 	④・3・2・1
○小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ☆運動会、学習発表会に参加 	④・3・2・1

総合評価

成果と課題	<p>保育を実施するにあたって、保育理念、保育目標などの基本的な方向を明文化した「保育課程」を定め実施している。また、クラスごとに年間計画、月別計画及び個別計画(3歳未満児)を策定し、子ども一人ひとりの発育・発達に合わせ保育内容の充実に努めている。</p> <p>課題としては、働く親たちを取り巻く社会環境は厳しい状況にあり、子育てに時間的余裕が取れないのが現状です。保護者の仕事と子育ての両立等を支援するために保護者の状況に配慮するとともに、常に子供の福祉の尊重を念頭におき、家庭と連携・協力していく必要がある。また、地域の方々とふれあいながら地域連携を図る。</p> <p>又、子育て世帯の支援として、未満児等の入園が増えている。保育士配置基準を満たし安心して預けることができ、ゆとりある保育と教育の充実のため保育士の確保が必要である。</p> <p>2年後の子育て教育施設の集約化として、小学校の敷地内に施設整備を進めることとし、本年度は施設の設計を行った。保小中連携による効率的な施設整備運営に努めていく。</p>	4
-------	---	---

【3-(1)】

重点施策名	事務事業	
3 学校教育の充実	(1) 教育内容・方法の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
<p>○教育課程の改善充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の改善 ・重点目標を踏まえた教育課程の編成、実施 ・重点目標具現の筋道の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習要領に基づく教育課程の研究、実践の推進 ☆指導の重点化 ☆教育目標から重点目標を焦点化し、実践、評価して具現に努める ☆小学校進んで学習に取り組み、学びを生かすこと 	④・3・2・1

	<p>ができる子ども</p> <p>☆中学校：互いに認め合い協働できる生徒</p>	
<p>○児童生徒の学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の特性を生かして基礎的、基本的事項と思考力、判断力、表現力の定着を図る ・児童生徒の実態を的確に把握し、適切な学習指導を推進 ・基本的な生活習慣及び望ましい人間関係の育成 ・民間を活用した学力向上の推進 ・外国語・異文化体験事業の推進 ・コミュニケーション能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ☆教材の精選、重点化を進める ☆学力テストを実施し指導方策を明らかにする ☆ICTを活用した学力向上 ☆実践の場の設定と指導の充実を図る ☆道徳的実践の習慣化を図る ☆かわうち興学塾の実施 ☆総合学力調査の実施と評価 ☆外国語、異文化体験事業の実施 ☆国際交流事業の実施 ☆他地域との交流事業の実施 	4・③・2・1
<p>○道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践力の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自主的、実践的な活動を援助し社会性を育てる 	4・③・2・1
<p>○特別活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己実現能力の涵養と豊かな実践力 	<ul style="list-style-type: none"> ☆保健、安全、給食との関連を十分図り、計画的、継続的な体力作りを進める ☆キャリア教育の充実 	④・3・2・1
<p>○体力、運動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ、競技スポーツを目指す体育の生活化 	<ul style="list-style-type: none"> ☆多種多様なスポーツ活動を実践 ☆中学校総合体育大会参加の支援 	④・3・2・1
<p>○学校保健、安全の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な保健安全活動、事故の絶無 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校、家庭、地域の連携を密にして、自他の生命尊重を基にして、指導の徹底を期する 	④・3・2・1
<p>○学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく、楽しい給食を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ☆給食費を支援する ☆食材の放射能検査を徹底する ☆物資の安定供給及び施設整備に努める ☆家庭と地域の連携を図り、食生活の改善と健康管理に努める ☆給食委員会の実施（月1回） ☆学校、家庭、地域の連携で食育を推進 ☆地場産品導入の検討 	4・③・2・1
<p>○教育機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ☆川内村育英奨学資金の貸付 ☆各種就学支援の実施 	④・3・2・1
<p>総 合 評 価</p>		4・3・2・1
<p>○教育課程</p> <p>小中学校の教育目標及び重点目標の具現を目指し、各領域においてそれぞれの実態を踏まえた</p>		4

	<p>具体目標、実践事項を設定した教育課程を編成し実践した。</p> <p>○学力向上</p> <p>英語教育にあってはALTを配置し、中学校だけではなく、小学校・保育園を巡回し、実際にあった指導が計画的に実施されている。特に英会話等ができ今後のグローバル社会で生かせる教育を行う必要がある。</p> <p>○2年に一度の海外教育派遣研修会を実施、中学生をシアトルへ派遣、文化の違い等体感すると共に、英語の必要性を実感することができた。</p> <p>○体力、運動能力向上</p> <p>少人数ながらも小中学校とともに特設陸上部等をおき、積極的な活動を継続的に行っている。また、部活動においては合宿を行ったり、外部講師を呼び指導を受ける機会もあり、技術の向上にもつながっている。更に本年度からは中学校でも野球部が再開となりました。</p> <p>○学校保健、安全の充実</p> <p>インフルエンザの流行時には、教委・学校・保育園・保健福祉部門の4者間で連絡を密にし、流行状況を見ながら状況に応じた迅速な対策を講じている。各校、保育園においては保健日より等により家庭における予防・対応等を喚起しながら、子どもや保護者の意識向上・維持に努めることができた。</p> <p>○学校給食</p> <p>今年度から学校給食費を完全無償化とすることとして、村で就学させる世帯への支援を行なうこととした。震災後、放射性物質の検査は県内外すべてを行ってきたが、5年間検査結果に問題がなかったため、平成28年度より福島県産のみの実施となっている。また、季節にあった給食メニューや海外のメニュー等食文化に触れる機会もあり、食育の推進が積極的に図られている。食育・マナー授業も実施した。</p> <p>○ICT環境の充実</p> <p>校内でのICT環境としては、電子黒板の導入やタブレットの導入を進められており、今後も校内パソコンの更新においては、タブレットの導入を検討し、校内教育に活用していきたい。</p> <p>一方、携帯電話の利用においては、ルールを守った使い方等学校での指導や家庭との連携により、適切に扱えるようにさせていく必要がある。</p>	
--	--	--

【3-(2)】

重点施策名	事務事業	
3 学校教育の充実	(2) 変化に対応した教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○教育環境の変化に対応する学校教育体制を 検討	☆学校、地域、家庭の代表者による検討委員会の設置	④・3・2・1
○研修機会の充実	☆指導主事の配置	
	☆県、県教育センターへの計画的参加推進 ☆村教育研究会の再開と実践的活動を推進	
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<p>学校運営協議会の設立に向け、川内村教育環境整備推進委員会の学校運営協議会部会でこれまで設立に向けて検討してきており、平成31年度に設立運営を行なう。</p> <p>平成29年度より指導主事を配置し、学校教育に関する指導助言を行ってきた。</p> <p>福島県教育センターへの研修への参加は積極的に行っており、教職員の知識や技術力の向上につながっている。</p> <p>川内村教育研究会活動においては、保・小・中PTA連合会が29年度より再開し小中一貫教育に関</p>	4

する学習会を実施した。	
-------------	--

【3-(3)】

重点施策名		事務事業		
3 学校教育の充実		(3) 児童、生徒指導の充実		
点検・評価項目		具体的実践事項		評価
○児童、生徒指導体制の充実 ・全職員の共通理解に基づく生徒理解と共通実践 ・生徒一人ひとりの心情理解と自己実現への援助		☆各学校生徒指導に係る実践的活動の推進 ☆教育相談体制の確立 ☆教員間で、児童生徒個々観察情報の共有		4・③・2・1
○家庭、地域社会、関係機関との連携強化 ・家庭・地域社会・関係機関と連携して健全育成		☆緊密な連携、相談体制の構築		4・③・2・1
総合評価				4・3・2・1
成 果 課 題	児童生徒数が少ないことから、個々に応じた指導体制が構築されている。家庭に対し学校活動などの情報を提供するため「学校、保健便り」等を定期的、臨時的に発行している。また、保健と福祉部門との情報交換が、年2回程度であることから内容の充実を図る必要がある。			3

【3-(4)】

重点施策名		事務事業		
3 学校教育の充実		(4) 教職員の確保と資質の向上		
点検・評価項目		具体的実践事項		評価
○教職員の確保 ・学校の実態に応じた適正な配置		☆県教育委員会との連携 ☆復興推進加配の要請		④・3・2・1
○教職員の研修の充実 ・研修のねらい、内容の明確化による資質の向上		☆村教育研究会の再開 ☆研修支援		4・③・2・1
総合評価				4・3・2・1
成 果 課 題	県教育委員会との連携のもと適正な教職員の数が確保できるよう取り組んでいる。復興推進加配の配置もあり、本来であれば複式学級であるが、単式学級で学ぶことが出来るため個々に応じた指導をすることができている。 川内村教育研究会（川内村PTA連合会）活動において、幼保連携と小中一貫教育に関する学習会として、川内小中学園義務教育学校教育基本計画について説明会が行われた。			3

【3-(5)】

重点施策名		事務事業	
3 学校教育の充実		(5) 特別支援教育の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○適正な就学指導と学習指導を推進		☆地域社会の理解を得られるよう努める	④・③・②・①
○障害に応じた指導計画、方法を確立		☆指導の個別化を図り、教材教具の活用を工夫する	④・③・②・①
総合評価			4・③・②・①
成 果 と 課 題	<p>特別支援教育体制としては、毎月の校長・教頭会で、教育委員会と保育園、小学校、中学校の特別な支援を必要とする児童生徒の情報を共有、個に応じ保健福祉部局や関係機関と連携し対応としている。</p> <p>又「個別の教育支援計画」を作成し校内で共有を進めていく。</p> <p>30年度、特別支援学級に該当する児童・生徒はいないが、経過観察を必要とする児童・生徒が小学校・中学校にそれぞれいるため、特別支援員の配置を行った。主に学習支援を行っており、中学校に席を置き週3日、小学校に週2日配置し個に応じたきめ細やかな指導が行われている。</p> <p>又海外帰国子女の学習支援として、国際交流協会や日本語学校等から直接講師を派遣し、基本的な読み書きや心の悩み等学校生活全般の支援を行なった</p>		4

【4-(1)】

重点施策名		事務事業	
4 生涯学習の推進		(1) 生涯学習推進体制の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○生涯学習推進本部の再生		☆生涯学習の推進	4・③・②・①
総合評価			4・③・②・①
成 果 と 課 題	<p>生涯学習推進本部の再生のため、現状の組織を見直しが必要。年度内の再生ができないため、次年度検討し、現状の人口での生涯学習の充実を図るとともに魅力ある生涯学習推進に努める。</p>		1

【4-(2)】

重点施策名		事務事業	
4 生涯学習の推進		(2) 生涯学習の普及啓発	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○村民への広報		☆広報媒体の活用	4・③・②・①
○村民意識の高揚		☆講座の実施	4・③・②・①
総合評価			4・③・②・①
成 果	<p>震災前に実施していた生涯学習推進本部会議の再開が課題となっている。生涯学習の充実を図るとともに魅力ある生涯学習に努める。村政懇談会を通じて、各種講座や教室等の要望を拝聴、又村広報誌やパンフレット等を使用して広報啓発を強化するとともに、震災前の講座復活に努めて</p>		2

と 課 題	<p>いるが、人材確保が課題となり講座復活も検討事項である。震災前では天山てらこや学習塾が行われていましたが、現在は放課後子ども教室として、子育て社会教育に様変わりしています。IT教室も震災までは開催されていましたが、スマートホン等携帯電話が普及しており状況も変わりつつあります。</p>	
-------------	--	--

【4-(3)】

重点施策名	事務事業	
4 生涯学習の推進	(3) 生涯学習機会の拡充	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○各種講座の復活	☆各種講座再開	4・3・②・1
○学習、体験等の指導者育成	☆小さな名人の掘り起こし	4・3・2・①
○情報通信の整備	☆ICTを活用した生涯学習を構築	4・3・2・①
総合評価		4・3・2・1
<p>組織の体制の強化を図っているが、職員不足を解消するまでには至っていないことや帰村した若者が少ないなど、従来の講座復活には時間を要している。新たな講座開設等検討する必要もある。</p> <p>各種講座の開催としては、平成 27 年度から再開できるものから始めていますが、毎月の開催には至っていない。開催方法や開催時期、参加者を増やすための方法の検討が必要である。</p> <p>子どもから大人まで参加できる事業や教室、人気のある運動教室等各係間での協力により行うことも必要である。</p> <p>又、今後の双葉郡の復興再生における町村間での連携による各種講座イベントの開催等も検討すべきところである。</p>	2	

【5-(1)】

重点施策名	事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(1) 社会教育活動の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○青少年教育の充実 ・青少年学習機会の充実 ・健全育成の推進 ・学校、地域社会の連携強化	☆村民会議の充実 ☆放課後子ども教室への援助 ☆子ども会活動への支援 ☆地域の子ども教室推進事業の実施 ☆世代間交流事業の実施	4・③・2・1
○成人教育の充実 ・村民の必要課題に応じた教室の開催	☆学習講座の開催	4・3・2・①
○女性教育の充実 ・学習内容、方法の工夫	☆各種研究会への参加奨励	4・③・2・1

・学習体制の充実	☆婦人会活動の援助 ☆社会参加活動の促進 ☆支部学級の推進 ☆女性セミナー	
○高齢者教育の充実 ・学習体制の充実	☆学習講座の開設 ☆指導者研修会への参加奨励 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者活用	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<p>○青少年教室や成人教育は帰村した人が少なく、場所の提供等もなく実施することができなかった。ただ震災後に始まった子ども教室は、需要も多く利用者も増え事業の定着化が望める。</p> <p>ただし、震災特例として児童館同様の運営も行っているため、スタッフにも相応の負担を強いっている。改めて放課後児童クラブの新設を進める必要があるが、有資格者の確保が最重要課題である。</p> <p>○女性教育・高齢者教室は合同の中央学級を、平成30年度は年6回開催してきたが、まだまだ構築が難しく、まずは県主催の各種研修会や勉強会に積極的に参加したい。</p> <p>○婦人会活動は積極的に実施され、村の催事での協力には欠かせない組織であるが、組織を支える人材確保が懸念されるところであり、30年度の婦人会支部の一部においては、人員が極端に少なくなったため、支部活動の休止となった。</p>	3

【5-(2)】

重点施策名	事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(2) 社会教育推進体制の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○社会教育関係職員の確保と資質向上 ・社会教育体制の充実	☆社会教育委員会の活動の充実	4・③・2・1
○民間有志指導者の活用 ・指導者の発掘、活用	☆指導者研修会への参加奨励 ☆生活文化技術の指導者発掘、活用	4・3・2・①
○社会教育関係団体の育成 ・青少年団体、婦人団体、PTA等組織的活動の充実	☆社会参加活動の促進 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者の活用	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果	<p>○社会教育体制の充実 郡連絡協議会や県の研究大会へ積極的に参加した。また村の事業にも積極的に参加を求める。</p> <p>○指導者の発掘、活用 指導者の発掘・活用はできておらず、今後も発掘・活用は課題事項である。</p>	2

と 課 題	○社会教育関係団体の育成 婦人団体は震災後も天山祭りを始め、合同運動会、敬老会など村の事業に積極的に参加してきた。保育園・小中学校の連合PTA等の組織も平成29年度に設立し活動を始めた。	
-------------	--	--

【5-(3)】

重点施策名	事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(3) 社会教育施設の整備	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○図書室の整備、充実 ・図書室利用の拡大	☆新刊図書の購入 ☆閲覧コーナーの整備	4・3・②・1
○コミュニティセンター等施設の利用 ・施設利活用の促進	☆施設の整備、改修 ☆閲覧コーナーの整備	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	<p>○図書室の利用者を増やすため図書室へ入りやすい雰囲気作りをした。</p> <p>○小学校の司書教諭先生のボランティアによる本棚の整理を行った。</p> <p>○イベント情報や公民館事業等の村内・他市町村のチラシなどを自由に見る事ができるスペースを設けた。</p> <p>○コミュニティセンターの防火対策等の整備を行った。</p> <p>○コミュニティセンターの電気施設の整備を行った。</p> <p>○コミュニティセンター内インターネットの携帯電話環境の構築を行った。</p> <p>○震災前に比べれば図書の利用者数は減っているが、子供を連れ家族の利用者が少しではあるが増えてきた。</p> <p>○図書管理システムの導入の検討を行ったが、ランニングコストや図書の利用実態から、システム導入は時期尚早と判断した。</p> <p>○行事やイベント情報を提供することにより公民館から村内、他市町村の情報を周知することができた</p> <p>○幼児・児童図書を充実させ児童図書館等整備を行い、多くの家族ずれなどの利用者を増やしたい</p> <p>コミュニティセンターの大規模改修については、施設の利活用検討委員会等総合的な見直しも必要とするため、改修については必要最小限としている。</p>	3

【5-(4)】

重点施策名	事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(4) 家庭教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
・学習機会の拡充	☆子どもの発達に応じた講座の開催 ☆家庭学習習慣の確立	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1

成果と課題	<p>帰村による家庭学習の支援として、放課後子ども教室を開催し家庭教育の支援をしている。</p> <p>更に学力向上に繋げるため村直営の学習塾を継続して運営している。</p> <p>又子供の発達における講座開設として「ピアノ教室」を開催している。</p> <p>職員の配置も限られるため、天山寺子屋等従来の事業については、今後再開を検討します。</p>	3
-------	--	---

【6-(1)】

重点施策名	事務事業	
6 芸術文化活動の推進	(1) 芸術文化活動の促進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○芸術文化活動の充実 ・地域での啓発活動の推進 ・芸術文化活動への援助 ・芸術文化活動の展開	☆地域単位での講座 ☆芸術文化活動への助成 ☆天山祭りの開催	4・③・2・1
○芸術鑑賞会の確保 ・芸術文化活動の展開	☆各種コンサートの開催 ☆各種芸能鑑賞会の開催 ☆芸術文化推進団体等の育成、推進	4・3・2・①
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<p>○震災前は、芸術文化推進団体が19団体あり、日頃の練習の成果発表会として、芸能大会を開催していた。ただ、芸術文化推進団体が震災後休止になっていることから、再開復帰が今後の課題事項である。</p> <p>○芸術文化団体も徐々にではあるが、再開（よさこい・カラオケ・フラダンス・大正琴・太極拳）してきてはいるが、なかなか活動ができない団体も少なくない。</p>	2

【6-(2)】

重点施策名	事務事業	
6 芸術文化活動の推進	(2) 郷土芸能、文化伝承活動の推進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○郷土芸能、文化財保存継承 ・保存継承の推進	☆保存伝承費助成 ☆文化財防火訓練 ☆平伏沼管理員配置	④・3・2・1

○文化財啓発 ・文化財理解	☆文化財巡り	4・3・②・1
総合評価		4・3・2・1
成果課題	文化財保存・継承については無形民俗芸能をはじめ、少子化による後継者不足・指導者の高齢化により存続継承に多額の支出と時間を強いられていることから、立替え費用を補助してきた。 なお、三匹獅子舞（4団体）を例大祭等で披露し継承を続けている。 文化財施設の防火活動については、消防団員不足から実施していなかったが、関係団体等の協力によりH26年度から実施し、平成30年度は長福寺で訓練を行った。	3

【7-(1)】

重点施策名	事務事業	
7 地域、家庭等連携	(1) 地域コミュニティづくり	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○地域連携 ・環境づくり ・青少年激励 ・公民館等事業周知 ・読書推進	☆花いっぱい運動 ☆区域外就学児童生徒との交流会開催 ☆成人式の開催 ☆広報紙活用 ☆絵本読み聞かせ ☆移動図書館の活用	4・③・2・1
○家庭等連携 ・子育て学習	☆思春期の子どもを持つ親の学習 ☆新入学児童の保護者の学習	4・3・2・①
○男女共同参画社会 ・地域社会への啓発	☆アドバイザー研修参加	4・3・2・①
○体験活動、ボランティア活動支援 ・推進体制の充実	☆コーディネーターと各学校の連携	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
○地域連携 公民館事業として、各地域や各学校の環境作りのために老人会、婦人会、保育園、小中学校へ花苗、肥料等を配布している。 成人式については、8月15日にコミュニティセンターに成人者を招待し、各団体、関係者がお祝いをしている。成人式の対象者は小学校入学時の学齢簿と現在の住民登録者に対して案内し、式を行ってきたが、今後は住民登録のある者等に特定する等変えていく必要がある。 公民館事業の広報については、村広報紙、防災行政無線、公民館内広報掲示スペース等を活用		2

成 果 と 課 題	<p>して幅広く事業内容の周知している。</p> <p>図書の充実を図るため移動図書館などから図書を年間2回、年間800冊程度借用し図書の充実 に努めている。</p> <p>この様な事業によって、地域内連携、子どもから高齢者までのネットワーク、生活環境づくり を目指しているが、原子力災害による住民帰還は被災前の80.9%にとどまり、地域分断、家 庭分断、世代間分断は修復されていないことから、今後も地道に辛抱強く継続していかなければ ならない。</p> <p>○男女共同参画社会 関係機関の会議、集い等への参加に係る啓発はできなかった。</p> <p>○体験活動、ボランティア活動支援 地域学校協働本部を設置し、小中学校と地域活動との連携を進める必要があるため、地域連携 のコーディネーターを配置して支援した。</p>	
-----------------------	--	--

【8-(1)】

重点施策名	事務事業	
8 生涯スポーツの推進	(1) スポーツの振興	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○組織の強化 ・組織、運営の充実 ・スポーツ少年団の育成	☆体育協会への助成 ☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	④・3・2・1
○生涯スポーツ推進 ・村民皆スポーツの推進 ・スポーツクラブの検討	☆各種大会開催 ☆啓発活動 ☆組織化の検討	4・3・2・①
○競技スポーツ振興 ・スポーツの振興 ・スポーツ団体の育成	☆各種大会参加 ☆川内の郷かえるマラソン大会の継続開催 ☆支援体制の充実 ☆体育指導員の養成、確保	④・3・2・1
○施設の整備と利用促進 ・体育施設の整備 ・体育施設の利用促進	☆既存施設の維持管理 ☆体育施設の宣伝と利用案内の周知	4・3・②・1
総合評価		4・3・2・1
○組織の強化 体育協会は、各種団体が様々な大会に積極的に参加していることから、団体数は減少している ものの従前同額を助成し強化を期した。 スポーツ少年団は、平成29年度より川内野球スポーツ少年団が再開し、週3日程度の練習を行 成っている。		3

果 と 課 題	<p>○生涯スポーツ推進 スキークラブ、ソフトバレークラブ、ゴルフクラブ、グラウンドゴルフクラブ、太極拳クラブ バトミントンクラブ等がスポーツ活動を行っている。新たなスポーツクラブの機会を醸成していき たい。</p> <p>○スポーツ振興 競技人口が激減の中にあっても、体育協会を中心に野球、ソフトボール、ソフトテニス、ソフ トバレー大会、グラウンドゴルフ大会等に積極的に参加している。 ニュースポーツについては、ここ数年カーリンコンを開催する機会が増え、参加促進を図ってい きたい。</p> <p>H28年度から川内の郷かえるマラソン大会の開催、室内型村民プールを開設したことから、 これらを通してマラソン、水泳の競技スポーツ振興と指導者の養成・確保に努めていきたい。</p>	
------------------	---	--

【8-(2)】

重点施策名	事務事業	
8 生涯スポーツの推進	(2) 健康づくりの推進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○健康づくり普及	☆健康スポーツ教室	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	<p>健康づくり推進事業として、毎年2月に「健康づくりソフトバレーボール大会を開催し、10 チームの約60名の参加があった。</p> <p>もりたろうプールでのトレーニングマシン導入による健康づくり活動も行なっている。</p> <p>村総合グラウンドと村体育センターの2施設しかなく、村民すべてが生涯を通じてスポーツを 楽しむために、屋内スポーツやファミリースポーツのできる多目的広場の確保が求められる。</p>	3

重点施策名	事務事業	
8 生涯スポーツの推進	(3) 小中学校特設スポーツクラブの育成、振興	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○小中学校特設スポーツクラブ充実	☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・③・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特設スポーツクラブは、指導者の発掘・活用を充実させ、学校等の連携を図りながら特設クラブの振興に努める。 ・小学校の特設陸上では、運動の基本となる活動に繋がるものです。中学校や社会人となっても駅伝大会等に繋がっています。 	3